

USBメモリーを信頼しすぎると大変なことに！？
併せて、写真データの保存方法について

1. USBメモリにデータ保存だけで大丈夫？

【記憶方法について】

①レコード版 (LP、シングル等)

物理的に、ポリ塩化ビニール等に
溝をつくってアナログ記憶

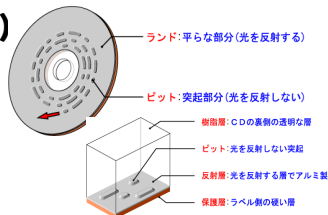


②磁気媒体 (フロッピーディスク、テープ等)

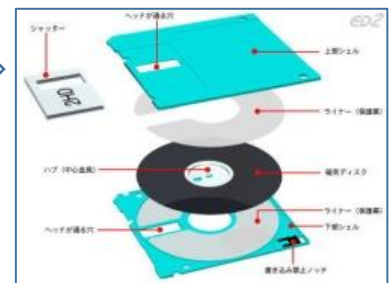
ベースフィルムに磁性体を塗布し、磁気でデジタル記憶

③光ディスク (CD、BlueRay等)

ポリカーボネート等媒体に
レーザー光でデジタル記憶

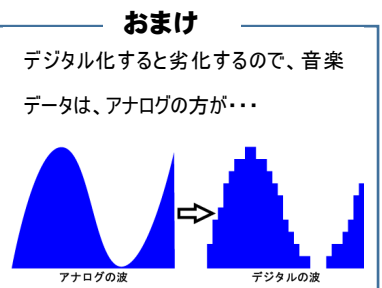
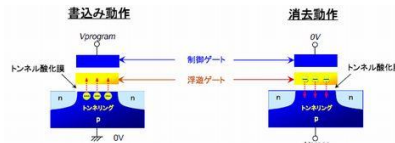


メディア	耐用年数の目安	特徴	品質による耐用年数の違い
ハードディスク (HDD)	5年前後	・大容量 ・衝撃に弱い	比較的小さい
フラッシュメモリー	5年前後	・高速 ・データが自然消滅する	比較的大きい
光ディスク	10~30年前後	・高寿命 ・傷や汚れの影響を受けやすい	比較的大きい



④USBメモリ (電子記憶)

セルと呼ばれる微細な記憶素子に「電荷:0」と「電荷:1」で記憶



④-1 USBメモリ異常事態

紛失: 落としたら大変ですよ (データが流出します)

暗号化: 落としても内容が分からないようにする仕組みです (暗号化、パスワード設定)

損壊: 先端部分が折れ曲がってしまった (修復はある程度可能)

④-2 どう使えばいいの？

信頼しすぎず、一時記憶として使用し、バックアップを取っておきましょう

2. 写真データの保存について

撮影機材: デジカメ・携帯等の容量、紛失、損壊に備えて、外部記憶にも保存しましょう

保存媒体: 紙 (紙質・インクによって保存期間が異なる)、CD等媒体 (性能によって劣化)

クラウド (インターネット経由でメーカーのサーバーに保存、OneDrive、iCloud等)

保存場所: 温度・湿度、太陽光、磁気に注意をしましょう

【思い出の引っ越し】

古いパソコンの写真データ等を引っ越しできます

ご相談下さい ... LP盤 98 xp vista ... ご相談下さい

